

玉川小学校 読み聞かせボランティアの報告

令和3年度 読み聞かせ養成講座修了生 武田 美香

自己紹介

- 玉川小 図書ボランティア(2022年～)
- 子供の頃：読書、国語嫌い
- 子供への読み聞かせで自分が絵本好きに
- 読み聞かせ養成講座受講(2021年)

概要

- ①玉川小 読み聞かせの活動について
- ②どうやって始めたか？(経緯)
- ③なぜできたか？(気づき)

玉川小 読み聞かせについて

活動：

- 2022年12月～ 月3回、4回開催
- 昼休み(約15分)、視聴覚室、全学年対象

読み聞かせボランティア：

玉川小 図書スタッフ、ボランティア 9名(在校生の保護者 3名)

交代制 3名/回 + 来たい人

負担のない範囲で

玉川小 読み聞かせを始めた理由

- ・ 図書室利用者の激減

2019年：30～50名/日 → 2022年：0名の時も頻繁

- ・ 図書ボランティアも減少

開館できない曜日も

- ・ 子供の友達のSwitch 累計使用時間に驚愕

→少しでも本に触れる機会を増やしたい

どうやって始めたか？

-経緯-

初めて児童館で読み聞かせ体験

- 1人で不安、自信なし
- 人前で注目を浴びる緊張
- 反応も薄い

→読み聞かせボランティアの楽しさが分からず

☆草津アートフェスタ2022 参加

修了生とともに絵本展示企画、読み聞かせ

- 企画・準備は楽しい
- 毎回ではないが、喜んでもらえた
- 落ち込んでいたら褒めてもらえる
- 世代が違ってても絵本で盛り上がる

→読み聞かせボランティアの楽しさが少し分かる。

他のイベントに参加

- 先輩のイベント見学
仲間とそれぞれの得意分野で楽しそう
- 小学生ビブリオバトル
本好き仲間が好きな本を勧めあって楽しそう

ワイワイ楽しくやっていける仲間を見つけられたらいいなと思う。



玉川小 図書担当の先生から読み聞かせの提案

玉川小 読み聞かせボランティア集め

読み聞かせボランティア問題

- 図書ボランティア減
- 保護者の多くが平日仕事



ダメ元で玉川小 図書ボランティアに呼びかけ
→予想以上に人数が集まる

今まで交流がなかった図書ボランティアの方とも準備や絵本で交流

なぜ始められたか？

-気づき-

気づき①種をいっぱい蒔く

できる範囲で種を蒔いた内の一つ

- 子育てサークル代表に相談 →方針が違い×
- 幼稚園はどうか →先生が頻繁に読んでる
- 玉川小 図書担当先生に声掛け →一度、断られる

気づき②場をつくる

コロナ前、玉川小 貸出し中に読み聞かせ 不定期に開催

- 図書室に来てほしいという同じ想いの人はいた
- ただ、場づくりのハードルが高い

(学校側と交渉、ボランティア集め、日程調整、場所確保)

→場をつくれれば、同じ想いの人が集まってくる

気づき③つながりをつくる

声を上げる勇気、熱意はなかった

- 頼れる人

生涯学習課や先輩方に相談やアドバイス、見学

- 練習

自分の子や子供の友達に対して練習

- 発信先

図書ボランティアのグループLINEで声掛け

→気軽に行動できるネットワークがあり、

気づき④仲間をつくる

読み聞かせボランティアの楽しさ

- 聞き手に喜んでもらえたら嬉しい
- 毎回ではない、見た目では分からない場合も。
- 未就園児と保護者、小学校高学年は分かりづらい
→自信を失い、喜んでもらえる体験前に挫折しやすい



仲間と読み聞かせを楽しみながら、
聞き手に喜んでもらう経験をし、自信をつける。

まとめ

地域ボランティアの活動に大切なこと
楽しさを知り、自信をつける

そのためには、

「場づくり、つながりづくり、仲間づくり」が必要

謝辞

- 生涯学習課 職員の方々
- 読み聞かせ養成講座 図書館職員の方々
- 読み聞かせ養成講座修了生

ありがとうございます。